

令和 6 年度 第 1 回広報広聴検討会議

日時	令和 6 年 11 月 29 日（金） 9 時 30 分～11 時 05 分
場所	役場 3 階 町民ホール
出席者	委員 5 名 企画環境課参事、広報広聴係

会議内容

- ①広報広聴活動全般について（広報誌、ラジオ、SNS など）
- ②広報誌リニューアルについて

議事録

- 副町長あいさつ
- 広報広聴活動全般について、広報広聴係より説明

【意見内容】

広報誌について

- ・（委員）最近、広報誌のレイアウトが変わったように思う。工夫が見られるし、読んでいて楽しい。
- ・（委員）広報誌は商業誌とは違い、デザインにお金をかけられるわけではない。読み手の見え方が変わったことは、大きな変化だと思う。デザイナーを変えたりしているのか。
- （事務局）デザイナーは変えておらず、広報からデザイナーさんへ入稿する際、余白を作るといったレイアウトの工夫や写真などのビジュアルで見せる工夫をしている。
- （事務局）広報では、2 週間に 1 度、広報よもやまを開催している。広報よもやまでは、広報誌を作る上での課題を話し合ったり、他の自治体の企画やデザインのいいところを共有したりしている。そういった成果が広報誌の変化に影響していると感じている。
- ・（委員）見ている人には変化が分かる。他の自治体では、新聞のように文字が並べられているだけのような広報誌もあったり、読んでいても楽しくないものもある。
- ・（委員）限られたページの中で掲載しなければならないので、二次元コードを表示して note など他の媒体に誘導するのも一つの方法である。
- ・（委員）広報誌の広報をしても面白い。
- ・（委員）カラーページを増やせたらいい。
- ・（委員）年に 1 度でもいいので、カラー号があっても面白い。
- ・（委員）町民として税金も払っているのであれば、情報共有の差が出ないよう、全戸に

配布すべきである。所属している町内会では、家は増えているが、加入件数は変わっておらず、配られていない人が多くなっている。町内会という古い仕組みに頼るのであれば町内会加入を強化しなければいけないし、町内会加入を強制しないならば、全戸配布するために別の方法を検討すべきではないか。

→（事務局）配布方法については、引き続き検討していく。

SNS について

- ・（委員）インスタを町民向けのコンテンツとして運用方法を変更したことは、賛成である。情報共有は町民のためであるから、町民向けに情報を発信できる媒体が増えることはいいことである。

- ・（委員）新企画「だからニセコが好き」は、自分のインスタで発信してもらうイメージか。

→（事務局）広報担当でエピソードをお伺いして、その内容をもとに編集、町のインスタで発信することを考えている。

→（委員）note には載せるのか。

→（事務局）テーマとしてはnote にも合うと思うが、インスタの更新頻度を上げるというためにも考えている企画である。

→（委員）両方に載せると、効率よく発信できるのではないか。

→（委員）ある程度更新したら、月ごとやテーマごとにまとめてnote で発信出来たら面白そうである。

- ・（委員）新企画「だからニセコが好き」のインタビューする人を紹介してもらって、数珠つなぎでやることは面白い。ただ、更新頻度が高くなった時に紹介された人とうまくコンタクト取れなかったりすると、発信が滞ってしまう。複数人紹介してもらってインタビューしたほうがいい。

- ・（委員）新企画「だからニセコが好き」の写真は、広報で撮りに行くのか。

→（事務局）撮りに行くか、思い出の写真を共有してもらおうことを考えている。

- ・（委員）インスタは、リンクが貼れない。ハイライトも一つの方法ではあるが、すぐに記事に飛べるようにリンクツリーという機能を使うと便利である。

→（事務局）リンクできないことは、困っていた。設定してみる。

- ・（委員）札幌市南区の取り組みでアーティストファイルというものを作っている。市の取り組みだが、インタビューは業者さんがやっていて、アーティストと市の接点が全くない。インタビューするのであれば、直接言って話を聞いた方がいい。

- ・（委員）複数人紹介してもらってインタビューに行くならば、エリアごとにやるなど工夫すると広報担当も効率よくインタビューできる。

- ・（委員）町の SNS 媒体が、それぞれどんな情報をどんな目的で活用しているのか整理したほうがいい。SNS は変化が多い媒体であるからその都度変化してもいいが、町民がどの媒体をフォローすればほしい情報が得られるのか、イメージできた方がいい。目的とターゲットを明確にすることで、媒体のキャラクターも見えてくる。媒体間で企画を共有できれば、別媒体での一つのコーナーにもなる。

- ・（委員）インスタでの自然な暮らしの様子の発信は、移住する人も町での暮らしが分かりやすい。

- (委員) 他の自治体では観光情報や観光スポットの写真を掲載している。写真で見せるのもあるし、いろいろな見せ方の正解があっている。
- (事務局) 町では、公式インスタ以外に教育委員会でもアカウントを持っていたり、町のメディアが多い。その中で広報が何を狙って発信するか。インサイドアウトで運用していったら、町外向けの情報も発信していきたい。
- (委員) 町の内側が分かると、本気で移住したい人がフォローしてくれる。ただ風景だけをアップしていても、フォローしている町民でさえ情報を見なくなる。そのアカウントとどのくらい関わっていくか、内側の情報を発信することで濃い関係人口が増えていく。
- (委員) こんにちは町長室や子どもたちが意見しているところなど、ニセコだからできる発信があると面白い。
- (事務局) 新企画「だからニセコが好き」のように、広報として発信していけることを検討していく。
- ・ (委員) 新企画「だからニセコが好き」は、どういった人にインタビューすることを考えているのか。
- (事務局) 町民、町外の人など、ニセコ町に興味がある人を考えている。
- (委員) 長期滞在の人も多いので、インタビューできる人は多いと思う。

●広報誌リニューアルについて、広報広聴係より説明

【意見内容】

- ・ (委員) 掲載内容としては、削除できないようなものもあるのか。
- (事務局) ある程度、掲載する月が決まっていて掲載している内容もある。
- ・ (委員) カテゴリー分けして掲載することは、読み手としても頭に入ってきてやすい。くらしの情報について、読みにくさがあったので横書きでブロックごとの掲載になるのは良い。ただ、くらしの情報はよく読むようにしているので、情報量は減らさないでほしい。裏表紙のカラーを生かすのはいいが、目に入ってきてやすい部分ではあるので、面白いほうがいい。1歳の赤ちゃんの写真で田舎でも子どもが多いことを実感することもあるかもしれないが、カラーだからといって写真にしなくてもいいのではないかな。
- ・ (委員) 載せなければいけない情報が多い中で、よくまとめられている。読みやすくするのはいいが、情報が減ってはいけない。いろいろ試して修正していくといい。
- (事務局) 情報量を減らすことは考えていない。
- (事務局) 情報共有をしたいというところと、見やすくしたいというところで乖離があるので、調整して良くしていきたい。
- ・ (委員) リニューアルについては、レイアウトしてみたか。
- (事務局) していない。
- (委員) 実際にレイアウトしてみて調整していくといい。
- (委員) 何のためのリニューアルなのかは、考えてやる必要がある。
- ・ (委員) 毎号、回覧板などのチラシがものすごく多い。そのあたりに掲載されている情報ともうまく調整していくといいのではないかな。
- ・ (委員) 伝える情報を減らすということではなく、他の媒体で補うようにして、折り込みチラシを減らす。そういった広報誌を配る人への心配りも必要である。

●その他

【会議外での意見】

- ・(委員) 予算としてなかなか広報にお金をかけられないことは分かる。しっかり広報していくためにも、広告料を徴収して町内企業の広告を載せるのはどうか。町内には町のことを応援してくれる企業も多いので、情報発信するという目的をきちんと説明できれば、広告料を払って掲載したい企業もいるのではないか。

→(事務局) きちんと情報発信していくためにも検討する。

●次回の検討会議

2月～3月実施予定とする。